

外国語(英語)問題用紙 (1/2)

受験番号	
氏名	

I 次の英語の全文を日本語に訳しなさい。

出典: Jeremy Breden, *The Organisational Dynamics of University Reform in Japan*,
London:Routledge, 2013, 27頁1行目-20行目.

corroborate: 確証する

外国語(英語)問題用紙 (2/2)

受験番号	
氏名	

Ⅱ

次の英語の全文を日本語に訳しなさい。

出典： Peter Senge, Nelda Cambron-McCabe, Timothy Lucas, Bryan Smith, Janis Dutton and Art Kleiner, *Schools That Learn: A Fifth Discipline Fieldbook for Educators, Parents, and Everyone Who Cares About Education*, New York: Doubleday, 2000, 37 頁 27 行目~38 頁 20 行目。

inextricably: 不可避的に

gyroscopic: ジャイロスコープの



外国語(日本語)問題用紙 (1/2)

受験番号	
氏名	

I 次の文章を読んで、下の問いに日本語で答えなさい。

(出典：広田照幸『教育は何をなすべきか』岩波書店、2015年、27頁4行目～28頁12行目)

問1 下線部①～⑤の読み方をひらがなで書きなさい。

問2 文中の(A)(B) に入る言葉をそれぞれ下から記号で選びなさい。

ア. しかも イ. だから ウ. しかし エ. なお オ. もしも

問3 下線部(1)の「職業や地位達成をめぐる『いす取りゲーム』」の意味を本文に即して説明しなさい。

問4 下線部(2)の「学校は、社会移動の装置」とはどのような意味か、書きなさい。

問5 下線部(3)の「使用価値としての教育」とはどのような教育だと思うか、具体的に説明しなさい。



外国語(日本語)問題用紙 (2/2)

受験番号	
氏名	

Ⅱ 次の文章を読んで、下の問いに日本語で答えなさい。

(出典：古澤和行「実践コミュニティ・ラーニングとイノベーション」吉田孟史編『コミュニティ・ラーニング』ナカニシヤ出版、2008年、115頁本文2行目～116頁12行目)

- 問1 下線部①～⑤の読み方をひらがなで書きなさい。
- 問2 下線部(1)の「換言すれば」を使って、短文を作りなさい。
- 問3 下線部(2)について、筆者は何と何を対比しているのかを説明しなさい。
- 問4 下線部(3)の「全人格的な参加」の内容を、本文に即して説明しなさい。

教育科学 問題用紙（1 / 4）

受験番号	
氏名	

以下の21領域の中から、各自の志望研究領域を含む2領域を選択し、日本語で解答しなさい。

解答に際しては、1領域あたり解答用紙1枚で解答することとし、選択した領域名を、解答用紙の所定の欄に必ず記入しなさい。また、問題用紙と解答用紙のすべてに受験番号と氏名を記入しなさい。試験終了時に、問題用紙と解答用紙はすべて回収する。

[教育史領域]

次のうち、いずれか一問を選んで解答しなさい。

1. 日本教育史の研究で採用されてきた研究視点とその特質について、代表的な研究者もしくは著作を二つ以上例にあげながら具体的に論述しなさい。

2. イギリスの歴史家E. H. カークが『歴史とは何か』の中で述べた「歴史とは歴史家と事実との間の相互作用の不断の過程であり、現在と過去との間の尽きることを知らぬ対話」という歴史学の定義の意味するところについて、教育史研究の観点から論述しなさい。

[教育行政学領域]

戦後改革期における教育委員会制度改革について、3つの原則をふまえて全体的な特徴を示しなさい。また、以上の制度理念を念頭におきながら、教育委員会のその後の制度運用実態とはどのようなものであったかを論じなさい。

[社会・生涯教育学領域]

少子高齢化が進むなか、高齢者の学習がますます重視されるようになっている。日本における高齢者の学習の歴史的変遷を踏まえながら、現代社会における高齢者の学習の意義と課題について述べなさい。

[技術教育学領域]

中学校の教育課程における職業科、職業・家庭科、技術・家庭科の位置づけの変遷について述べなさい。

[職業・キャリア教育学領域]

キャリアガイダンスの各指導領域のうち、進路情報の学習以外の領域を4つ以上あげた上で、高校生の場合に即して進路情報の学習の指導形態について論じなさい。

教育科学 問題用紙（2 / 4）

受験番号	
氏名	

[学校情報学領域]

文部科学省が2015年1月16日に発表した「高大接続改革実行プラン」では、2019年度に「高等学校基礎学力テスト(仮称)」、2020年度に「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」を導入し、これらについては、専門家会議を立ち上げ、いくつかの課題とともに「CBT方式の導入方法」を検討するとしている。このCBT(Computer Based Test)について、IRT(Item Response Theory)を含めて解説した上で、CAT(Computerized Adaptive Testing)との違いについて述べなさい。

[カリキュラム学領域]

中央教育審議会・教育課程企画特別部会において、学習指導要領の改訂に向けた検討が現在進められている。その中では、「アクティブ・ラーニング」を重視する方向性が示されている。このことに関連して、「アクティブ・ラーニング」について説明し、それが重視される背景と意義、ならびに予想される課題について述べなさい。

[教育方法学領域]

授業過程の可視化手法の具体例を示した上で、教育方法学研究における可能性と課題を論じなさい。

[教育経営学領域]

学校運営協議会制度の理念、現状、課題について述べ、これからの学校と地域の連携・協働においてこの制度が果たしうる役割について、政策動向を踏まえて論じなさい。

[教師教育学領域]

教師教育における学校・教育委員会と大学の連携について論じなさい。

教育科学 問題用紙（3 / 4）

受験番号	
氏名	

[人間形成学領域]

「他者理解」に関する相異なる捉え方をとりあげ、それぞれの長所と短所について論述しなさい。

[教育人類学領域]

多文化教育を定義し、その実践例と課題について具体的な国・地域をとりあげて論じなさい。

[教育社会学領域]

教育社会学の研究において、「ジェンダー」の視点はどのような意味で有用であるか。「ジェンダー」の定義に言及したうえで、自由に論述しなさい。

[比較教育学領域]

公立学校において複数の宗教・宗派教育が提供されている国・地方の例をあげ、その運営の仕組みと問題点について比較の観点から論じなさい。

[大学論領域]

大学組織論における、ゴミ箱モデル、緩やかな連結モデル、組織化された無政府状態について、その内容を具体的な例をあげて説明し、これらのモデルが出てきた背景と、これらのモデルの組織論における位置づけを説明しなさい。

教育科学 問題用紙（4 / 4）

受験番号	
氏名	

[高等教育学領域]

バートン・クラークが論じた高等教育システムの利害調整パターン（国家権威、市場、大学寡頭制からなる三角形モデル）について、クラークが分析した1980年代の日本の位置づけを説明した上で、2000年代の日本の状況がどのように位置づけられるかを論じなさい。

[生涯体力科学領域]

老化の指標について、その有用性、備えるべき条件、具体例を含めて説明しなさい。

[健康運動科学領域]

体幹トレーニングについて、その特徴、具体例、実施上の注意点を含めて説明しなさい。

[スポーツマネジメント領域]

国際スポーツ統括組織におけるスポーツ・インテグリティ実践活動について説明しなさい。

[スポーツバイオメカニクス領域]

表面筋電図を測定する際の注意点について、以下のキーワードを全て使って説明しなさい。

キーワード：神経支配帯、筋線維の走行方向、電極間距離、皮下脂肪厚

[スポーツ生理学領域]

安静時と比較して、高強度運動時の1)骨格筋、2)脳、3)皮膚、4)心臓における血流量の変化について説明しなさい。